

きほく川柳会

晴れやかな笑顔赤門横に撮り

宮川 柳酔

順風満帆気分はいつも晴れマーク

栗木 一郎

嫁ぐ娘の晴着に包む父母の愛

宇都宮 忍

晴れの日は嫌な田畑が待っている

森本 幸美

日本晴れ今日もやる気の靴を履く

金子すすむ

晴れ姿野良着も板にUターン

宇都宮 孝

年だろか渡ったはずが溝の中

武田 浅美

受け渡すバトンが重い負の遺産

西原 厚子

愚を通す三途の川を渡るまで

財前 溪子

ど忘れを他人の顔して只笑う

加藤 桂子

楽園を魔境に変えた放射能

渡辺 光男

パソコンもコピーも脳を怠けさす

合田 悦子

米の値はともかくそこに土地がある

都 瞳

探し物ここに居ますと呼び戻す

吉井 興一

大掃除しつかり磨くびかびかだ

高三 清原 賢斗

信号機びかびかして次は青

小五 淵本ななみ

びかびかとしずくがひかりほうせきだ

小四 梶野 海斗

ピカピカのくつでふみ出す第一歩

高二 榎 美琴

母の歌染みる耳へと心へと

高三 山口 悠季

耳かきをしてるとすぐ眠くなる

中二 清原 沙耶

とおくでもみみはきこえるすごいなあ

小三 山田 清也

耳で聞くいろんなことをまなぶんだ

小四 梶野 峰士

耳すまししぜん音が聞こえるよ

小三 小原 麗羽

パンの耳最後に食べるお楽しみ

高一 宮川 直輝

山登り荷物いっぱい足重い

中一 菅元 聖羅

ダイエット体重計に乗る私

中一 吉良ちひろ

プレッシャー受けて感じるこの重み

高三 藤森 柚樹

この俺にリーダー格は荷が重い

高二 山口はると

竹の子川柳会

Andrew's Story 【No.14】 「Road Trip」

鬼北町に来て4年が経った今でも、日本の夏の「蒸し暑さ」には、正直まだ慣れていません。

しかし、やっと夏のドライブに行ける季節がやってきました。今年の行き先はまだ決めていませんが、今からすごく楽しみにしています。

ドライブと言えば、アメリカの文化のひとつに「ロード・トリップ」と呼ばれるものがあります。ロード・トリップとは文字通り、友達と一緒にどこか目的地を決め、車に乗って旅に出ることです。道中には、音楽、会話やゲームなどをして時間を過ごし、運転を交代しながら、行く先々にあるいろいろなおもしろい場所を見つけていきます。

アメリカはとても広いので、この旅では目的地に着くまで何日間もかかります。なので、途中、各州にある特別な場所や博物館などに立ち寄ることがあります。また、「世界最大のパンプキン」など、それぞれの地域が誇る自慢のものに出会えることもあります。

日本では、こういった文化は聞いたことがありませんが、僕はときどき友達と一緒にロード・トリップをしたくなります。

皆さんは、ロード・トリップのような旅行をしたことはありますか。したことがない人は、ぜひ挑戦してみてください。普段の旅行とはまた違った楽しみを見つけられることでしょう。



鬼北町外国語指導助手
通称：アンディ
アメリカ合衆国アリゾナ州出身
※毎週水曜日、英会話教室を開講しています。